

定例教育委員会会議録

(平成27年9月4日開催)

岡谷市教育委員会

定 例 教 育 委 員 会 会 議 録

日 時 平成27年9月4日(金)
午前9時30分

場 所 保健センター2階 集団指導室
署名委員 草間委員長 橋爪委員

【 次 第 】

○ 開 会

○ 教育長報告

○ 議 題

1. 岡谷市教育大綱(素案)について【資料No. 1】 (教育総務課)

2. 岡谷市指定文化財の指定解除について【資料No. 2】 (生涯学習課)

○ 報 告

1. 岡谷小学校統合計画の取り組み状況について (教育総務課)

2. 平成27年度文部科学省委託事業の採択について【資料No. 3】 (教育総務課)

○ そ の 他

・行事等について

・その他

【次回開催予定】 10月7日(水) 定例教育委員会13時30分 市役所 6階 605会議室

出席委員

教育委員長 草間 吉幸、教育委員 小野 繁男、教育委員 橋爪 園美、
教育委員 太田 博久、教育長 岩本 博行

欠席委員

職務代理者 倉田 啓子

事務局(説明員)

教育部長 吉澤 洋人、教育部担当参事 橋爪 哲也、生涯学習課長 小坂 英之、
生涯学習課副参事 鮎沢 要一、スポーツ振興課長 小松 厚、教育総務課主幹 両角 秀孝、
教育総務課主幹 高橋 卓、生涯学習課主査 藤森 栄太、教育総務課主査 伊藤 清和

<会議録>

○開 会

草間委員長： それでは、ただ今より9月の定例教育委員会をはじめます。
本日の署名委員は、橋爪委員と私になります。
最初に、教育長報告をお願いします。

○教育長報告

9月に入りました。秋雨前線の影響でお日様が顔を出すことが少ないこの頃で、なんとなく梅雨のような鬱陶しさを感じますが、この時期の空では、夏の風と秋の風が出会うときでもあります。古今集にこんな句があります。

夏と秋と 行きかふ 空のかよひ路は

かたへすずしき 風や吹くらむ

凡河内躬恒 古今集巻3 168

夏と秋が行き交う空のことを「ゆきあいの空」と呼んでいます、とても素敵な日本語だと思います。

子どもたちにこのような美しい日本語の存在を伝えてあげたいとつくづく思います。

さて、本日は、4月に行われました全国学力学習状況調査の質問紙の結果で特徴的なことをご報告したいと思います。学力に関わりましては、現在各学校や学力向上推進委員会で分析を始めておりますのでその結果を待ってご報告いたします。

小学生でいい傾向を示しているのは、「自分には良いところがあると思いますか」と「将来の夢や目標を持っていますか」、「学校に行くのは楽しいと思いますか」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」ではいずれも、否定する子が減り、肯定する子が増えています。

同一児童の経年変化ではないので総体的な傾向としてみるならばいい傾向と言えます。一方、「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」「新聞を読んでいますか」では年々低下の傾向がうかがえます。

中学生では、「学校の規則を守っていますか」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」などが上向きになっている反面、小学校と同じような課題がありました。

「国語、算数(数学の勉強は好きですか)」の問いに対しては小、中とも上向きであり、理科を好きだという子どもも比較的多い結果が出ております。「朝食を毎日食べている」という調査では、小学校では96.7%がほとんど食べていると回答したのに対して、中学では、91.3%という結果が出ており、中学校の保護者との連携が一層必要だと考えます。

以上、結果の概要をお伝えしましたが、今後さらに多面的に分析し、指導に活かしてまいりたいと思います。

草間委員長： ただいまの報告について、何か質問等ありますか。

草間委員長： 子ども達の社会とか地域への関心が薄くなっている気がしますが、これは全国的な傾向でしょうか。

岩本教育長： そうだと思います。ふるさとおかやに学ぶ学習とか、地域と連携しながら子供を育てるということでやっていますので、地域の皆さんには私たちの思いが伝わっていると思いますが、子ども自身についてはまだまだ不十分な点があるのかなと思います。この点をしっかりと大事にしていきたいと思います。新聞を読まないのは子供だけではなく、大人もそうなっている。社会参加についても、云わば、大人の姿を鏡に映している。地域ぐるみでそういった点の意識改善を大事にしないといけないと思う。

橋爪委員： 朝食を食べていますかと尋ねる項目のところに、理由を尋ねる設問はありますか。

岩本教育長： 無いです。

橋爪委員： もし、そのような設問があれば分析ができるのかなと思い質問しました。

岩本教育長： この数値は、小6と中3への質問になるので、学校全体ではありませんが、ある程度

の傾向は示していると思うので、どのクラスでも子ども達が朝食を食べているといったことを先生がしっかりと高い意識を持って、みなさんの様子を見て、なぜ食べられないのかといった理由まで踏み込んでいければ良いと思います。夜遅くまで起きていて食欲がないとか、理由は様々ですが、その辺を大事に分析する必要があると思います。

太田委員： 小学校はもっと地域への関心があるように思っていました、意外な回答結果でした。前回と比べてどの程度落ちていますか。

岩本教育長： そんなに極端には落ちていません。2、3ポイントといったものです。年によっても違いはあると思いますが、低学年、中学年は比較的地域への参加が多い一方で、高学年から中学校に入るとなかなか地域の行事に参加する子どもが減ってきている。忙しいという理由もあると思いますが、子ども達が関わられるような環境づくりを我々も応援しないといけないと思います。

小野委員： 新聞を読まないというのは、考えてみると自分の子供を見ても地域新聞は取っていても、経済新聞はとっていない、また、若い世代の夫婦は新聞をとらないといった傾向があり、そうすると、学級新聞といったものくらいしか子供の目にも触れなくなってしまう。予算措置は必要だが、新聞そのものを学級に置くといったようなことも必要になってくるかもしれませんね。

岩本教育長： よく新聞を活用した学習が良いと言われますが、そのようなものを取り入れながら、情報源として新聞が非常に役に立っているということ子ども達に意識づけるように指導したり、先ほどの朝食の話もそうですが、保護者の皆様には校長からでも呼びかけをしてもらい、生活の中で大事なことは子供のときには見逃さない、取り入れてもらうようしっかりと啓発する必要があると思います。

草間委員長： 教育大綱の中にもふるさと、郷土愛が出てきますので、是非力を入れていただきたいと思います。

他には何かございますか。無いようですので、本日の議題に移りたいと思います。

○議 題

1. 岡谷市教育大綱(素案)について【資料No. 1】 (教育総務課)

<事務局より、大綱について、8月26日の総合教育会議での協議を踏まえ、教育委員会として本案をもって素案から案に承認いただきたい旨の説明。>

草間委員長： ただいま事務局より説明がありましたが、これについてご質問、ご意見等ありましたらお願いします。前回の総合教育会議から時間がおり、また委員さん方もお考えいただいたと思いますが、ご発言があればお願いします。

草間委員長： 岡谷版コミュニティスクールとスタンダードカリキュラムの違いというところでしょうか。

事務局： スタンダードカリキュラムは普遍的にあらゆる学校の学びのステージに自然、製糸、蚕糸博物館の内容、岡谷の歴史的な部分で武井武雄を題材にした学びなどをあらゆる場面、理科とか国語とかいろんな場面で岡谷ならではのものを加えて、岡谷の特徴を生かしたカリキュラム編成をして行こうというものです。それによって郷土を愛する心と、このまちの将来を支えていく人材を育むという大きな狙いがあります。岡谷版コミュニティスクールのベースに置いているのは信州型のコミュニティスクールになります。県のものは学校支援のボランティアを中心にして、今ある学校と地域とのつながりを中心に組織化をして行きましようというもので、また、学校への参画、評価などをするための組織化をして行きましようというもので、岡谷にはこれまで地域と築きあげてきた関係性があります。例えば、放課後子どもの居場所づくり、通学路の安全の見守り隊、学校での読み聞かせボランティア、そういった方々がそれぞれの役割のなかで動いていただいているが、そういった方々の横の繋がりを作るという部分、さらに地域にはいろんな経験、技を持っている人がいるので、そのような方々にも学校に参画していただくということで、岡谷版としています。そちらの内容につきまし

ては、用語集にもまとめてあります。

橋爪委員： 5Pの図の横にある学校の力、地域の力の前には、どんなことを狙っているかが簡潔に言葉となっていますが、家庭の力については、「温かな」だけなので、これでは少し弱い気がします。「やすらぎが得られる」とか、「人としての成長の機会に満ちた」、など具体的に示すフレーズがあれば良いと思います。

太田委員： 私もその考えと同じで、家庭の力に対応する部分は、生涯学習の④の親力、家庭力につながるのかなと思いますが、私は、子ども範となる、背中を見せられるような親として、生きていくために、生涯にわたって学び続ける姿勢そのものといったニュアンスを入れられればと個人的には思っていました。親も改めて生涯学習という考え方のなかで、親も学び続けることが大事なんだよ、そういったことに岡谷は力を入れているんだよと出せたらより良いと感じました。家庭の中で責任ある大人として、生涯にわたり学び続ける姿勢の涵養といった感じなのかなと思っていました。

小野委員： 私は家庭の力という人間としての基本の力を身につける場といったイメージがあるので、大雑把に言うと、しつけというのが家庭の力とイメージしています。

草間委員長： ここの表現について、「温かな」だけでは少し弱い気がします教育長はいかがでしょう。

岩本教育長： なかなか良い言葉が思い浮かばないので、もう少し考えてみたいと思います。

太田委員： もう少し前向きな、ポジティブな考え方が出てきても良いなとも思います。

橋爪委員： 簡潔な言葉が良いと思いますが、P7の④と結びつけて表現を工夫すると良いとも思います。

小野委員： ここで子どもだけを対象とすると少し違うかなということも感じます。

岩本教育長： 家庭に期待するのは自立と共生なんだろうが、自立と共生を育む家庭の力という言葉の回しが良いのかなと思います。自立と共生がキーワードになっていて、それを家庭でも頑張ってもらおう。それが一人ひとりの子供の力になっていく。

草間委員長： 生涯学習課長はどうですか。

事務局： 子(己)育てミニ集会は岡谷で長らくやっている岡谷独自の活動になりますが、その活動の思いをここに端的に示せれば良いなとも思いました。

橋爪委員： 「温かさ」、「安らぎ」とか、ほっとする部分も一緒に盛り込めたらと思います。

草間委員長： 事務局は今のそれぞれの意見を全部盛り込むというのはどうですか。

事務局： 今日いただいたご意見を踏まえて検討を加えます。

草間委員長： 他にございますか。

事務局： 表紙の裏面には教育をイメージする写真を入れたいと思います。

橋爪委員： 表紙についてですが、いじめ防止の対策の方針が出たときに長野県岡谷市教育委員会とあり、生涯学習の計画にも長野県と入っていたので、表記についてご検討をお願いします。

事務局： おっしゃる様に長野県を入れたいと思います。

草間委員長： これは長野県を入れるものなのですか。

事務局： どちらの場合もあると思います。

太田委員： それでしたら、岡谷市の方だけに入れるのが良いと思います。

小野委員： 私もそう思います。

事務局： もう少し検討させていただきます。

太田委員： より小さな地域単位で自立をしているんなことをやっていくというような流れだと思うので、小さな単位でも良いと思います。

岩本教育長： 入れる、入れないということについては、その思いが作る側にあるかということですよ。

橋爪委員： 自分のなかでも整理がついていないことですが、特別支援教育とユニバーサルデザインの言葉の使い分けをどうしたら良いでしょうか。暗黙で何か困難なお子さんへの対応という意味合いが強くなりますが、逆に現状だと物足りないというお子さんへの特別支援という意味で、その子たちへの特別支援という使い方でもできると思います。そ

ういった観点からどうなのかなと思いました。

岩本教育長： 岡谷市教育委員会で大事にしているのは、特別支援教育の充実といっているのですが、それに迫るための1つの考えとして、ユニバーサルデザインを大事にするとしていきたい。特別支援教育もどの子に対してもという意味で、先生も市民のみなさんの意識も変えていかないといけないと思います。

草間委員長： 他にございますか。

長い間ご検討いただいて皆さんの意見も大体出たのかなと思います。さきほどの検討部分もありますが、ここで教育大綱を教育委員会として、素案から案としてさらに検討を進めて行きたいと思いますが、よろしいでしょうか。

【承 認】

草間委員長： 異議がないようですので、素案から案ということでご承認をいただきました。

2. 岡谷市指定文化財の指定解除について【資料No. 2】 (生涯学習課)

<事務局より資料 No. 2に基づき、市指定天然記念物「新倉十五社のケンポナシ」の枯死による指定解除について説明。>

草間委員長： ただいまの説明についてご質問等あればお願いします。

無いようですので、この件についてはご承認いただいてよろしいでしょうか。

【承 認】

草間委員長： ご承認をいただきました。

○報 告

1. 岡谷小学校統合計画の取り組み状況について (教育総務課)

草間委員長： 報告事項1「岡谷小学校統合計画の取り組み状況」について事務局より説明をお願いします。

<事務局より5学年3校合同キャンプの様子など学校統合推進委員会だより等に基づき説明。>

草間委員長： ただ今のご報告について質問、ご意見があればお願いします。

橋爪委員： 火の神様はどなたがなされたのですか。

事務局： 校長先生です。

橋爪委員： この様子を見ると先生方の思いが伝わってきます。

草間委員長： 先日通学路の点検をした際に感じたことですが、コンビニの横は高校生の自転車が一齐に通るので、高校に対しても教育委員会としてお願いをしていかないといけないと思いました。

事務局： 市内の高校の先生方に出ていただく会議があり、そこでも状況を説明し、お願いをしているところです。また、昨日田中小校区の3区の区長と打ち合わせをし、この3区には見守り隊が無いので、新しい組織を作り、みんなで見守って行きましょうという話をしました。こういった話がスタートし、ソフト対策を含めて安全を守る取り組みを進めているところです。

橋爪委員： 見守り隊の無い3区はどちらになりますか。

事務局： 上浜、下浜、小尾口の3区です。実際には、個人でボランティアをやっている方もいるので、個々の取り組みを改めて組織化できればと思っています。また、

3区を共通して挨拶運動が行われているので、それをきっかけにして組織をつくれたらと思っています。まずは学校評議員にお話をし、PTA、学校、地域が入って進めて行きましょうというスタートラインに来ています。

草間委員長： 他にはよろしいでしょうか。また、何かありましたらその都度出してください。次の報告をお願いします。

2. 平成27年度文部科学省委託事業の採択について【資料No. 3】 (教育総務課)

<事務局より資料No. 3に基づき、岡谷小学校統合に関わる取り組みが文部科学省の委託研究事業に採択された件を報告。>

草間委員長： ただいまの内容について、質問等ございますか。

小野委員： 委託事業の200万円というのは年間200万ということですか。

事務局： そうです。子ども総合相談センターで行われているインクルーシブの事業も同じような制度設計になります。

小野委員： 事業の計画段階から実施までとあるので、具体的にどうするというのはこれから詰めていくということですか。

事務局： 申請のなかでは、統合が課題となっていてこれからそれに向けて進んでいくということがありますが、それ以前に、これまでに進めてきた経過があり、現在に至るといった部分があります。統合推進委員会といった組織化を図り、統合に向けてやっていますよというのを提案しながら、これからの学校づくりについて提案をしたところ採択となりました。有識者という点については検討しているところです。

太田委員： 採択された他の4団体はどんなところですか。

事務局： 内訳については、特に公表の予定は無いようですが、県内では岡谷市だけのようです。

草間委員長： 教育大綱とリンクした内容で、これが実現できることによってさらに大綱の力が発揮できると思います。

岡谷版コミュニティスクールとスタンダードカリキュラムがここで合体して、より効果的な教育ということで、非常に素晴らしい内容だと思います。

太田委員： 補助事業と委託事業の違いはどんな点ですか。

事務局： 補助は主たる事業の執行者は市で、それに対して国が補助する。委託事業は、国の研究に対して市が成果を報告するといった事業の主体が国となるもので、それに伴う経費を国が負担するというものです。

事務局： コンサルタントに業務を委託する場合にコンサルに支払われる委託料が市に払われるというイメージです。

太田委員： それで特に縛られる部分はないのですか。

事務局： ありません。

事務局： ただ、2、3年目となると同じ計画ではなく1年目を踏まえた計画を作る必要があります。

小野委員： このような国の委託事業はたくさんあるのですか。

岩本教育長： 国が一つの施策を行う場合に、先行して予算を獲得して行う、インクルーシブや統合に関わるものについては、できるだけ先取りして事前に得られた成果を蓄積して、効果があるので予算要求をお願いしますといった一番の元になるものです。最近はこのような形が増えていると思います。

小野委員： 子どもの貧困だとかの問題についても、委託事業や、補助事業のなかで国に情報がたくさん入っているのですか。

岩本教育長： あると思います。国として一番良いのは一緒になってやっていくという姿勢ができることだと思います。自分たちがほしい情報を請求できる。ところが、補助金というのは一旦出せばもらったほうが主導となるので、委託事業というのは国としても非常にありがたい制度だと思います。文科省ではこれからこういった形が増えていくので

はないかと思えます。

草間委員長： この受託事業は教育総務課で行うのですか。

事務局： そうなります。

草間委員長： 年度でいくといつからスタートですか。

事務局： おそらく今月中に契約手続きを行い今年からスタートとなります。28年度も事業計画を出し、毎年契約し、繰り返し3年間行う形になります。

草間委員長： 他に事務局から報告はありますか。

無いようですので、その他について事務局より説明をお願いします。

○その他

- ・行事等について（各課）

<各課より行事予定について説明>

- ・その他

<次回開催日の調整等>

橋爪委員： 7月の定例会で「アンケート結果が出ましたらご報告させていただきます」と申し上げてありました、小井川小学校での学級懇談会の件ですが、結果が出ましたので要約したものをご報告したいと思います。

対象者66名中65名が参加し、アンケートの回収率は66%。回答をまとめると満足度は「十分に満足」、「ほぼ満足」が86%で、「少し改善を」が11.6%でした。改善の内容は、「時間が短かった」、「もっと話したかった」などの建設的な改善内容でした。「さらに改善を」という方はいませんでした。

感想は、「楽しかった」、「今までに無い試みで良かった」、「このような懇談会なら参加したい」、「子どもと親の顔と名前を覚えて良かった」、「声をかけやすくなった」、「違う保育園、幼稚園からの方と話しをできるきっかけになって良かった」、「懇談会中の託児もありがたかった」、「託児があることで出席できた」といった肯定的な意見が大半でしたが、「これが懇談会なのか」とか、「担任の先生と話しをする時間ももっとほしかった」という意見もありました。

保護者同士の交流促進という意味で、一定の成果が得られたと捉えています。この結果をもとに、既にある取り組みや、新しく作られる取り組みのなかで、今回の実践を参考にさせていただけるよう機会を見つけてはご紹介を重ねていきたいと考えています。

以上報告です。

草間委員長： その他にございますか。本日より予定していた内容は以上となります。

これをもって、9月の定例教育委員会を終了とします。

終了11時35分

岡谷市教育委員会会議規則第23条により署名する。

平成27年10月7日

署名委員 草間吉幸

署名委員 橋爪園美

調製職員 吉澤洋人